

## 【学位論文審査の要旨】

博士論文「Effect of simple home exercise focused on timing and coordination on lower-extremity function in non-disabled older persons: a quasi-randomized controlled trial.」について論文審査および最終試験を実施した。

本研究は健常高齢者の下肢機能改善をはかるためのホームエクササイズの開発に取り組んだ研究である。対象は高い水準の下肢機能を有する地域在住の高齢者で、ホームエクササイズは荷重タイミングでの筋収縮や協調性の学習の要素を取り入れて開発した。研究結果はこのホームエクササイズが地域在住高齢者に受け入れられ、下肢機能の向上に効果があったことを示唆していた。副論文2編も本論文に関連が深く、これらの知見は地域在住高齢者の介護予防推進に活用できるものであった。

論文審査および最終試験では目的、方法、結果、考察へと一連の流れが示され、研究テーマの新規性や研究成果の臨床的意義が理解できた。副査1からは研究デザインやアウトカム指標の選択について妥当な回答が得られたとの報告があり、副査2からはホームエクササイズの特徴および解析結果の解釈についての的確な回答が得られたとの報告があった。いずれも本論文は博士論文に値するとの判断で、論文審査および最終試験は合格とすることであった。主査からは本研究の臨床的有用性を確認したところ、副論文を含む研究成果の実装について適切な回答がなされた。

以上のことから本研究論文は予防理学療法学および地域理学療学分野において高く評価でき博士論文に値すると判断し、論文審査および最終試験は合格とする。